

松禪寺報

<http://syozen.com>

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第36号

発行 平成 21 年 7 月 20 日



法の花 音して開く蓮の花

暑い毎日が続いています、明け方、清涼なる風の吹く水面に大きな多弁の花を咲かせる蓮は、その美しさから、極楽浄土の花と言われてきました。仏教の教えでは、煩惱のただなかにある私たちも、実は、泥のなかにあつて泥に汚れず、清らかな花を咲かせる蓮のような菩提の種を、一人一人の心の中に持つてしていると説いています。

蓮の花が開くとき、実際には音を立てないようですが、極楽浄土に生まれ変わること念じた古人は、そこに無音の音を観じたのに違いありません。その音はまた、妙なる法の音でもありましょう。涼やかな微笑みで、私たちに語りかける今は亡き人々を、皆さんそれぞれの心の蓮に観じつつ、妙なる法の音の響きに、今しばらく耳を傾けていたいものです。

亡き人と
心を通わせるお盆です。

薬師祭 人が出合い行き交う 縁側

栗尾薬師堂の大祭 コンサートやバザーなどでにぎわう

松禪寺境内に安置されている県重要文化財の「薬師如来坐像」のお祭り「薬師祭」(主催・栗尾ふるさと委員会/委員長・西垣勉さん)を、13日(日)に開きました。当日は、心配されていた雨もなく、終日多くの人々が境内を行



▲蒸し暑い一日でしたが多くの人が行き交いました

き交い、にぎやかなお祭りとなりました。このお祭りの前日である12日(土)には、午後5時から栗尾ふるさと委員会のメンバー有志が集まって、餅つきを行いました。慣れた手つきで威勢良く、約13臼の餅をつきあげました。祭り当日は、午前11時から本堂で写経を行い、午後1時半から薬師堂において法要を執り行いました。法要後は、境内で餅つきを行い、これをきなこ餅にして参拝者などに振る舞いました。また、但東町出合の「すみれ共同作業所」のメンバー



▲美市川善久さんの電子ピアノによる演奏、須知鏡水さんの歌に酔いしれました

にお願ひして、ヨーヨー釣りや市内の共同作業所が制作販売している小物や海産物などを販売していただきました。さらに、朝来市の喫茶「咲良乃実」さんが出張喫茶

を開いてくれたり、松元さんの今川焼きとたこ焼きのお店もあつたりと、お祭り気分を盛り上げてくれました。参拝者の皆さんもこれらバザーをのぞいたり、コーヒーやカレーライスなどを楽しみながら、お祭りの一時を家族などと一緒に楽しんでいただいたようです。

午後3時前からは、本堂において「お寺の縁側コンサート」を開催、このコンサートも今年で12回目となりました。今年は、福知山市立原で音楽館・楠堂を経営されているジャズピアニストの美市川善久さんと、ボーカルの須知鏡水さんをお招きしてのジャズコンサートです。美市川さんは、「ジャズはいろいろなスパイスによって、また新たな音楽を生み出してくれるんですよ」と、「フレイミー・トウ・ザ・ムーン」などのジャズの名曲のほか、誰もが知っている「矢切の渡し」や「川の流れるように」などの曲もジャズ風に演奏され、心に染み入る演奏に大きな拍手が送られています。また、ボーカルの須知鏡美さんも、障害を伴う兄弟の葛藤と絆を歌にしたオリジナル曲「桜の誓

い」を披露され、皆さんはその歌詞に耳を傾けておられました。

コンサートの最後には何とフラダンスが登場です。豊岡市桜町の小西真知子さんから5人が、美市川さんの演奏と須知さんのボーカルで「涙そうそう」「見上げてごらん夜の星を」を、華やかな衣装で優雅に舞っていただき、お寺の本堂も一気に南国ムードに変身しました。手や指でいろいろな表現を行って舞うフラダンスは、平和を祈る合掌のようなポーズが何度も見られ、何の違和感もなく本堂でのフラダンスを観ることができました。

最後は、にぎやかに境内で餅まきがあり、大きな歓声とともに今年の祭りを終えました。お寺という場所、いろいろな人が参加され、参拝さ



▲祭りの最後は和やかに餅巻きで



▲フラダンスで本堂は南国ムードに変身しました

れ、小さな子どもたちも来てくれたりと、まさしく地域の交流の場となったことはいずれい限りです。それこそ、お寺の縁側としてこのお祭りも続けていきたいと思えますが、何よりも地域の皆さんの理解と協力がなければなりません。二日間にわたってご協力いただいた皆さまに、心よりお礼申し上げます。

仏壇のお供え

六種の供養

今年も

また、ご先祖様の霊を迎え、有縁無縁の精霊を供養するお盆の季節が巡ってきました。皆さんの家でも仏壇の掃除をしたり、花を替えたりお供え物をしたりと、その準備に余念がないことでしょうか。このように、仏様に香や花や灯明を供えるのは、本来自分が持ち合わせている仏さまと同じ心を養うために欠かせないものなのです。それは、六種の供養といつて、生きている私たちにとつては、幸せになる条件といつてもよいでしょう。



水(布施)…水は大地を潤し、草木を育み、私たちの乾きを癒します。この水の如く、仏さまの慈悲を万物に恵み施すようにと教えられています。

香(持戒)…香を焚けば、身も心も浄められます。仏さまの姿を私たちの心の内に磨き出すことを教えられています。

花(忍辱)…花は風雨に耐え、厳しい冬を越えて美しい花を咲かせます。人生のあらゆる苦難に耐え抜いてこそ、美しい幸せの花が開くことを教えられています。

線香(精進)…線香は自らの身を燃やしつつ清らかな香りをあまねく漂わせて、人々の心を浄めてくれます。正しい道に努力し、精一杯一生懸命にやり遂げる精進の姿そのものであります。

仏飯(禅定)…生命を養う力となり、心に安らぎを与えてくれます。これにより、心静かによく落ち着いて、身と呼吸と心を調えることを教えられています。

灯明(智慧)…仏さまの偉大な智慧の光を表す灯明は、人間の迷いの闇を破り、明るい悟りの世界へと導いてくれます。

以上が、仏壇のお供えに示された六種の供養であります。これらのお供え物を介して、仏さまと私たちは対面するわけです。言葉ではなく、自らが気づき、実践すること、それが仏さまと同じ心を養う供養なのです。

以上が、仏壇のお供えに示された六種の供養であります。これらのお供え物を介して、仏さまと私たちは対面するわけです。言葉ではなく、自らが気づき、実践すること、それが仏さまと同じ心を養う供養なのです。

施餓鬼会は、有縁はもとより、無縁の衆生に対しても供養するものです。お経を読む功德、お線香をあげる功德、花や木々果物を供える功德、そういった功德が、自分の先祖のみならず、あまねく一切に及びますようにと供養する行事です。

今年も多数の和尚様により法要を執り行います。この法要では、初盆の精霊だけではなく、ご先祖様を始め、志す精霊にご供養することによって施主皆様の現世安穩が得られるいわれます。ぜひ、ご家族お揃いでお参りください。

なお、施餓鬼会の日程と今年初盆を迎えられる方は下表のとおりです。

No.	喪主(敬称略)	住所	続柄	故人名	命日
1	山門大施餓鬼・添施餓鬼				
2	榎本 恵子	佐々木	母	千代子	平成20年8月9日
	西本 順子	大貝	夫	洋一	平成20年9月10日
	榎本 弘明	佐々木	父	義和	平成21年2月23日
3	浅田 芳弘	久畑	父	一正	平成20年10月9日
	武田 達夫	下山根	父	忠	平成21年3月23日
	森下 雅之	久畑	父	徳之	平成21年3月30日
4	鶏魂供養				

平成21年

施餓鬼会

(せがきえ)

【日時】 8月7日(金)

午前10時より修行



棚経

(たなぎょう)

お知らせ

まもなくお盆を迎えます。お盆は、普段から何も催促なさらぬいご先祖さまとの語らいの時でもあります。

8月13日が迎え火にあたり、16日が送り火です。



お墓をきれいに掃除して、ご家庭では仏壇を丹念に掃除して、お花、ろうそく、お線香、果物、お菓子、季節の野菜などを供えます。

お寺からは、9日から13日の間、棚経(たなぎょう)といって各檀家を廻って回向いたします。下表の日程で参る予定ですが、諸般の都合から急遽変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

朝から廻りはじめますが、午後

になる地域もあります。留守宅で戸締まりされている場合は、外から仏壇に向かつてお参りする場合がありますので、ご承知おきください。

平成21年 お盆参りの日程

棚経実施日	地 域
8月9日(日)	清滝→本城→柴地→山根→貝田
8月10日(月)	久畑→石原→佐田→大貝→平田→佐々木
8月11日(火)	出石町→南尾
8月12日(水)	豊岡市→福知山市→岩滝
8月13日(木)	西谷

【編集後記】

いつかは四国八十八カ所霊場巡拝をしたいと思っております。二泊三日だと六回で満願。一泊二日だと九回で満願となるようです。参加ご希望の方があれば、和尚に伝えてください。期日は未定です。